

本当に道路は要りますか？



市長は「相生山に一般車両も走れる道路を通す」と市議会で発言しました。計画から６８年、「自然を大事にする名古屋市が良い」と工事は止められて来ました。今回の発言を歓迎する人もいますが、本当のところはどうなのでしょう。

開通すれば１日７千台の車が通り抜けるという話です。久方交差点は大渋滞、静かな住宅地に騒音や振動、排気ガス。菅田橋～昭和高校前の状況も変わります。

近くには小学校も保育園もあります。マナーやルールを守れない運転者がいる限り、危険が増えます。

減税や学校教育やインフラ整備など、市民が望む急ぎの課題は山ほどあります。新たな心配の種になるこの道路を、なぜそんなに急ぐのでしょうか。

「環境に配慮した構造にすればいい」と言うけれど、工事が始まれば森はどんどん壊されます。今の相生山は、もう帰って来ません。

市長の判断が間違っていると考える私たちは、発言の撤回を求めて、署名活動などを行います。市長に市民の声を届けます。応援してください。

よろしくお願いいたします。



水・森・いのちを守る ラブリーアースJapan

<https://lovelyearth.info/>

e-mail : viva_forest@yahoo.co.jp

ブログ: 相生山からのメッセージ

<https://aioiyama.blog.fc2.com/>